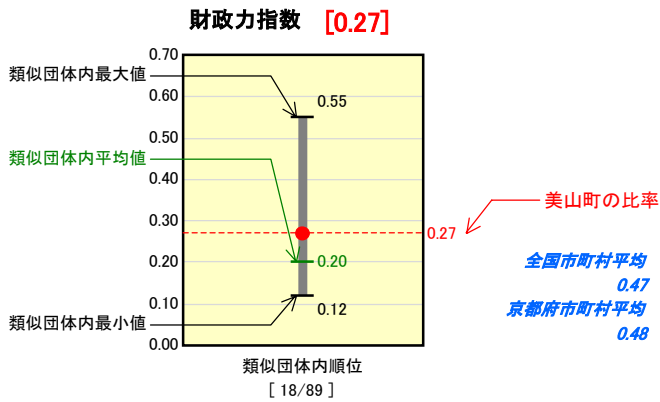


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

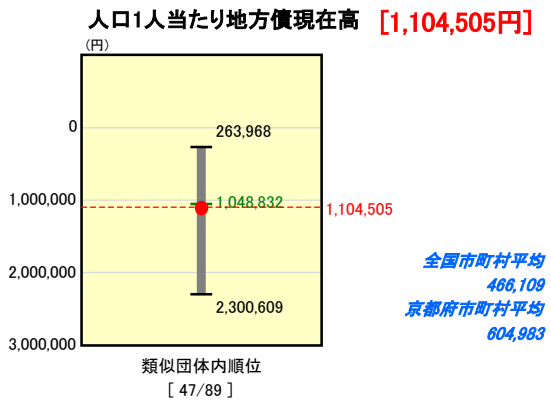
## 京都府 美山町

人口	5,165人(H17.3.31現在)
面積	340.47 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,565,884千円
歳出総額	4,434,398千円
実質収支	91,651千円

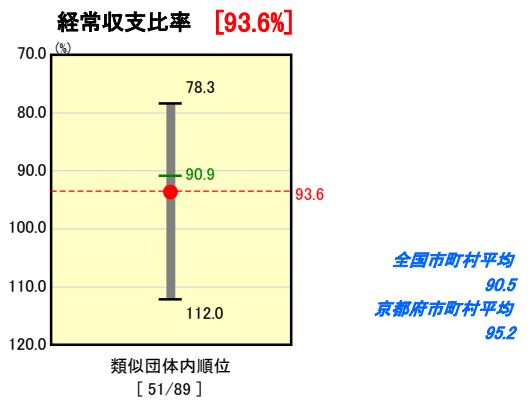
### 財政力



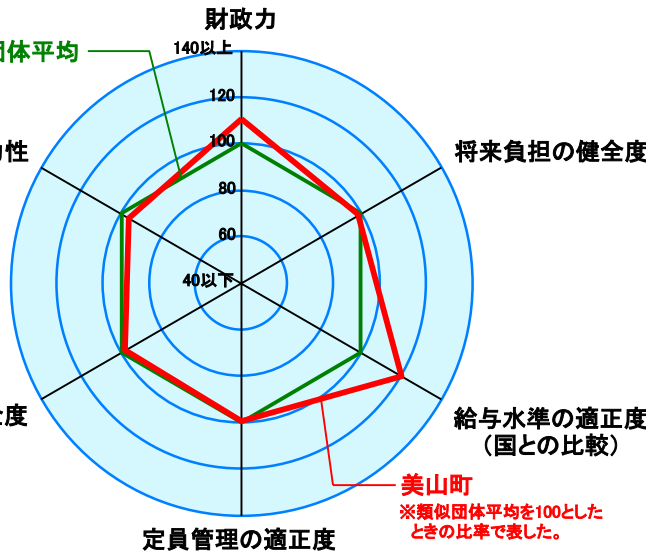
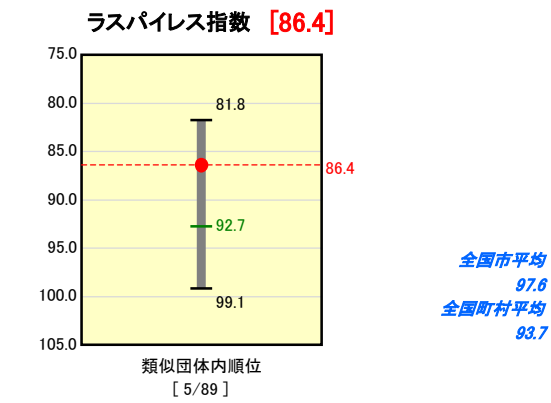
### 将来負担の健全度



### 財政構造の弾力性

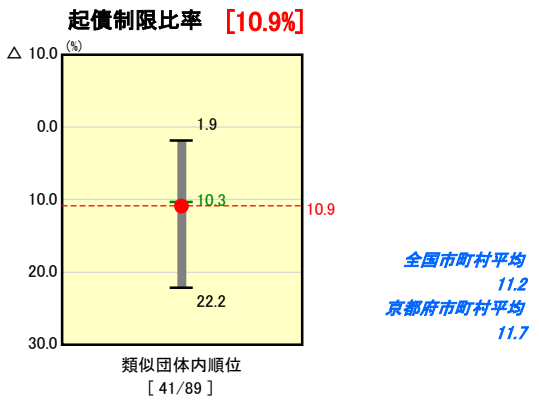


### 給与水準の適正度(国との比較)

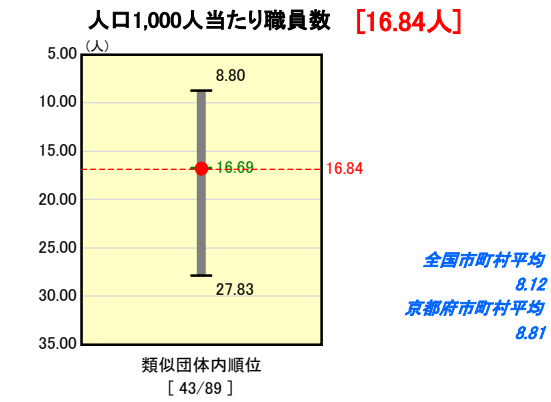


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



### 分析欄

**【財政力指数】**  
山間僻地、過疎地域と厳しい条件の中、町税の歳入に占める割合が割弱と極めて低く、自主財源が乏しい。今後も増収の見込みはほとんどなく、地方交付税に依存せざるを得ない財政状況である。厳しさを増す地方財政の状況を反映して、財源の確保が困難な状況である。

**【経常収支比率】**  
ここ数年90%台で推移しており、比率は年々悪化している。市町村合併(南丹市・平成18年1月1日)を契機に、人件費の削減など行財政改革に取り組み、財政硬直化の回避に努める。

**【起債制限比率】**  
かねてより、交付税措置のある起債の発行を重点的に行っているため、比率は類似団体平均と同水準で推移している。今後も過疎対策事業債等の起債を活用し、公債費負担の健全度を保つよう努める。

**【人口1人当たり地方債残高】**  
普通建設事業の抑制策により、地方債残高は減少の傾向にある。1人あたりの地方債残高は1,000千円を超えているが、交付税措置があることから、実質的な公債費負担は抑えられている。

**【ラスパイレズ指数】**  
勤奨退職の実施、管理職手当の一部カットなど人件費の抑制に努めており、給与水準は類似団体平均を大きく下回っている。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
340.47平方kmという広範な町域に、5,000人あまりの住民の集落が点在している環境下では、住民サービスの維持に相当のコストを要する。職員定数は現状程度でやむを得ない状況である。